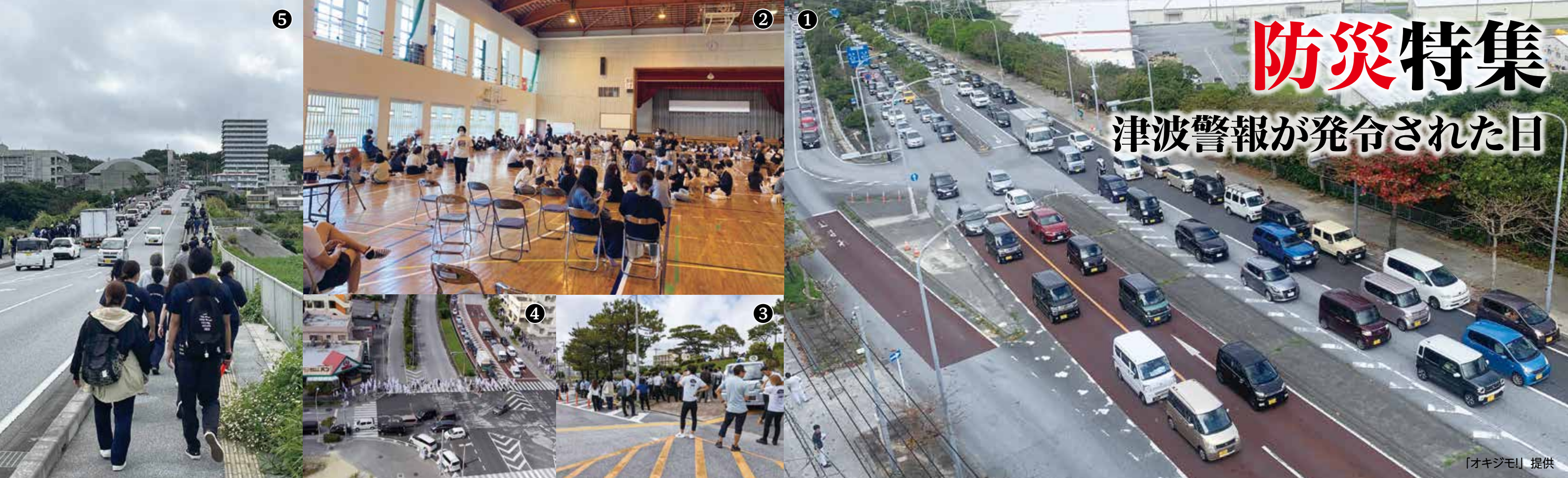


防災特集

津波警報が発令された日



「オキジモ」提供

今日からできる 災害への備え

住んでいる場所の 災害リスクを確認

あなたが住んでいる場所は、どのような地域ですか？海抜は何メートルありますか？近くに急傾斜地があり土砂災害の危険性は？浸水する可能性は？など、自分が住んでいる場所の災害リスクを知るとはとても重要です。宜野湾市の防災マップで必ず確認しましょう。

宜野湾市防災マップ▶



避難ルートを 自分の足で確認

近隣の津波避難ビルを確認したら、今度は実際に歩いて体験してみましょう。自分の足で津波避難ビルまで何分かかかるのか、また避難ルートには倒壊しそうな工作物などのリスクがないかなど、安全性を確認してください。津波警報時に津波到達予想時刻、津波その状況にあった避難行動を選択できるようにしましょう。

近隣の 津波避難ビルを確認

4月3日の津波警報では、警報から津波到達予想時刻まで約1時間ありました。しかし、毎回このように時間があるとは限らず、数十分で津波が到達する可能性もあります。そのような場合、最短で避難ができる、近隣の津波避難ビルの上へ避難する垂直避難をする必要があります。

必ず、近隣の津波避難ビルを最低でも3カ所は確認しておきましょう。

宜野湾市津波避難ビル▶



非常用 持ち出し袋の確認

災害が発生した際に、素早く避難行動ができるよう、非常用持ち出し袋を準備しましょう。飲料水や食料品、充電器、持病の薬など、必要なものを確認し、3日分の備えをしましょう。

非常用持ち出し品リスト▶



4月3日(津波警報が発令された日)

- 1 宜野湾署の判断により県道81号を伊佐交差点から普天間向けに全4車線を一方通行にした(「オキジモ」提供)
- 2 指定避難所となった嘉数中学校
- 3 佐真下公園の様子
- 4 国道58号宜野湾バイパス伊佐交差点
- 5 大山「ハルヨイ橋」の様子

令和6年4月3日の津波警報は、平成23年3月11日の東日本大震災以来、13年ぶりの警報となりました。幸いにも被害をもたらす津波は来ませんでした。多くの方が避難行動をとるなかで、様々な課題を見つけることができました。皆さんは、その日どのような避難行動をとりましたか？「このように避難したらよかった」「避難の際にこれがあればよかった」など、様々思うことがあったのではないのでしょうか。今回の津波警報により、それぞれの避難行動を今一度考え、必ず来る次の災害に備えるきっかけにして頂きたいと思います。

避難行動から 気づいたこと

原則 「徒歩避難」を

今回の津波警報は、多くの方々が車両で避難をしました。その結果、各幹線道路は大渋滞し、完全に身動きがとれなくなりました。津波到達予想時刻10分前に海抜2mの伊佐地区で立ち往生している車両が多くあり、実際に津波が来ていた場合、大きな被害となっていた可能性があります。

このような交通渋滞を起こすと、高齢者や障がい者、小さいお子さんがいる家族など、本場に車両での避難が必要な方々が避難できなくなる恐れがあります。また救急、消防の緊急車両が現地へ到達できず、救命活動に支障をきたします。

日頃から防災の意識を高めて、いざという時に徒歩避難をするための準備や訓練が必要になります。



津波到達予想時刻10分前に海抜2mの伊佐地区で動けなくなった車両▶



「オキジモ」提供



車両による避難により幹線道路が渋滞している様子▶